京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
大祭日及び日曜日は休刊(日刊)

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金十五錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

甘茶澁茶

▲萬事不如意

日本本年の豊穰は實に未曾有の事に屬し韓國も亦た甚だ穰る、加之西貢南貢も亦た同じく此の喜びを共にすと聞く、天の米を賜ふ何ぞ其れ多きや、米既に多し、復た憂無きが如きも事實は却て之に反し饑孚途に横つて民に菜色あるを見る其だ奇なる現象ならずや、是れ供給の過剰の終に米價をして低廉ならしめ延て以て民の購買力を減じたるの結果に外ならざるは云ふ迄もなし天の民を幸せんと企てゝ却て之を害ふもの、所謂過ぎたるは尚は及ばざるに優れるものか、人間の万事意の如くならざるは萬承知なれども豐作して却て悲しまざるべからざるとは天の人を弄ぶも亦た酷ならずとせず。

▲病者到處有華嚴

「靜すな靜すなど淺間に登る」とは一時煩悶病の彌縫したりし時、京童の囃せし言句なるが、近時漸く其の跡を絶ちしが如し、是れ煩悶病の撲滅せしが爲めなりとせば余輩は甚だ之を喜ぶ所なるも病未だ熄まず煩悶になやめるもの世上尚は多しとせば余輩は其の流行の中絶せるを悲しむ、何となれば若し煩悶になやむが如きものあらば宜しく之を苦痛の外に救ふべきは余輩の務めにして又た人情なるべく之を救ふの途は唯此の便法に由るの徑捷なるに如かざるを以てなり、由來人の煩悶するが如きは薄志弱行意思の甚だ弱きが故にして之れを濟度するが如きは甚だ艱難事に屬す、果して之を濟度することの甚だ難事ならば世の此のバチルスたる彼等を打ち拂ふは甚だ必要事にして決して其の存在を許すべからざるなり果して其の存在を許すべからずとせば必ずや其の自滅は甚だ容易にして効績の見事なる方法を執るべきを要す、而して其方法の見事にして容易なるは淺間に登り華嚴に投するの優れるはあらず、余輩の世の煩悶病者に之を勸むる所以は實に此にあつて存す、病者到る所華嚴あり患者征く所として豈に淺間なからんや、投じて苦患を去るは豈に爾の幸ならずや。

▲美は女人の一部也

美は人の欲する所なり、婦にして醜ならんよりは其の美なるに如かずと雖ども顏色の美は心の美なるに如かんや顏色の美は須叟にして去るとも心の情美は去るに期なけん、顏色の美は女人に於て缺く可らざるも而かも顏色の美は女人の全部にもあらずして又た女人の美の全部にもあらざるべきなり

雜報

北韓の近事

小倉主計監の談

▲會寧　日本人住家四百九許有れども羅南、淸津等に於て日本市街を形成せると異なり韓人部落に雜居し商賈も總て韓人相手にて相應の取引あるが如し此點に於て前者の所謂共食的なるに比し一層有望なる將來を豫想し得らる

▲淸津　同地の急速なる發展は實に想像以上なるが今や土地の狹隘を感じ海岸埋立道路つけ更へ其他諸般の設備に忙はしく活氣横溢せるを見たり

▲人氣　北韓は人氣不良なりと聞き居しも予が通過したる地方は至て靜穩にして日本人に親近せるが如かりき去れど唯鏡城を東南に距る十二里水南と呼べるは戸數約三十戸を有する小部落なるが宗教の關係より日本人を嫌忌し曾て日本巡査同地にて危害を被り裁判所より吏員を出張せしめて大檢擧を行へる事ありし由にて予が調査用ありて同地方に出張するにあり同所に宿泊せざるやう一韓人は予に注意を與へたり總じて北韓の人民は南韓のそれに比し精悍にして富の度も高きが如し其住屋を見るも南韓には藁多く北韓にては殆んど瓦葺なり但常食は多く粟若くば稗を以て之れに充て米の用量は極めて少なし隨つて稻田甚だ少く稗田頗ぶる多し目下秋收を終へ市場一般に賑へり又氣候は北韓の寒氣少しく強し當地とは襯衣一枚の差あらん云々

韓國穢多種族(二)

今村警視の談

△白丁の社會上の地位▽

白丁の社會上の地位を説明するに先立つて一應普通民の階級を述べねばならぬ、恰當高麗朝の尤も隆盛を極めて居た頃である、漢の武帝の制に倣ひ普通民を三階級に分けた、それは、兩班、常民、奴僕で日本で云へば兩班は華士族の如き上流者や、常民が中流の市民奴僕は讀んで字の如く奴隸のやうなものだとも云ふが此の三階級以外に更に級外が二つあるうの一が白丁で二が巫女及び花郎(巫女の夫)になつて居る、何故巫女が社會から斯う蔑視されるかと云ふに、朝鮮では古來から孝貞の兩體を重んじて居る、巫女は父母が死んでも喪に服さない、それで白丁同樣下級民として級外に置かれたのである高麗朝當時は地方の行政も比較的行屆いて居たので戸籍の調査も行はれたがこの級外の白丁と巫女一族は籍がない今回此等の舊慣を打破して民籍に加へることゝなりた爲め彼等は雀躍せんばかりに悦び、大いに統監政治の德澤を謳はいて居る、爰に斷つて置きたいのは、在來朝鮮に於て八賤と稱せられつゝある賤民と白丁とを混同せざらん一事である、八賤とは社會上の地位から之を觀たのではなく、個々の職業上賤しい生業と目されて居るに過ぎぬ。皮工、僧侶、娼婦、驛人、伶人、奴隸の如きを八賤と云ふので、矢張り常民に相違はない。白丁は隨分酷い待遇を受けたものだ、それは次號に詳述するが彼等の一大福音とも見るべき議政府令が開國五百三年に議政府令と云ふのが布かれて賤を免すとの事で、八賤は八賤に非ずと法文で證明されたから、八賤の肩身は大いに廣くなつた譯だが、白丁は矢張り白丁で捨置かれた次號に彼等が社會から受けた慘酷な待遇を書かう(續く)

◎新刊紹介

●家庭教育の實際(秀閑女史著)　眞に小供を愛する者は忠臣なり愛國者なり而して又た最もよく人生の目的を發現し得る者なり何となれば次で世に立ち來る小供の教育の良否は軈て國家の消長に關するを以てなり我國の東洋一の强國として世界の文明國に伍するを得たるも有力なる原因は小供を愛することの至て數きに職由すれども眞に小供を愛することは事甚だ易きに似て而かも易からず世上往々にして其の愛を過まるものゝあるは甚だ以て痛嘆事とする眞に小供を愛するとはよく教育を施すを是れ言ふなり從來幾多之に關する書類の世に行はるゝあるも大概抽象の議論多く又た大概小供に直接することの少なき男子の手になるもの多く實際に行はれ難きを嘆きしが今多年小供の教育及び小供の性情に就て具体的に研究したる秀閑女史が實際の事實及び意見を婦女新聞に聯載したるを聚蒐編纂して一巻となせるもの即ち此書にして世人が如何に此書に由て從來の抽象的兒童教育論の缺陷を補ひ得るかを思へば眞に喜びに堪へず勇で此書を紹介するもの實に之が爲めなり本書は洋紙和裝の美麗なるものにして價は六十錢東京牛込區西五軒町婦女新聞社の發行にかゝり韓地に於ては京城旭町一丁目報知新聞社支局に於て販賣す

●最近韓國要覽　本書は朝鮮新聞社の編纂に係るものにして地理、官制及豫算、農業、工業、商業、林業、交通々信、水產業、鑛業、日本人團重なる條約及諸法令等韓半島の富源開拓經濟的施設實業的經營に必要なる最新の資料を遺漏なく供給してある三百九十二頁の洋裝書なり定價一圓

鎭西八郎

第三十一席　伯山改　神田松鯉口演

此暇に新院は東の門より落行き給ふた爲朝は味方を見返へるに廿七人盡く討死して殘るは八町礫紀平治唯一人であります、又此紀平治がまだ微傷一つ負はずに主と共に防ぎ戰かひ居る爲「オ、紀平治、今はハヤ君も父も落伸び給ひつらん、何程戰ふても詮なきことイザ落行かん」と紀平治と共に心靜かに落行き給ふ、敵は固より八郎の弓勢に恐れて居るから誰一人として追掛けるものがないので、紀平治と兩人悠々として落行かれまする、此日御曹子は二十四差したる矢二腰、十八差したる矢三腰十六差したる矢三腰を負ひ給ひ其内義朝の兜の星を射切つたる一條だけが仇矢で、あとは一條に二騎を射貫らぬき頗る目覺しき働きを遊ばされた今一條の上矢鏑の殘れるを、此世の思出でなりとて、寶莊嚴院の門へ兵ふと射止めて去られました、是より紀平治と唯二人、悠々として落行き、近江を指して白川まで來られ山中に馬を駐め給ひ紀平治に對ひ爲「惜むらくは頼長、我が謀計を用ひ給はず座ながら敵を待ちたればこそ忽ち軍破れて君父の往方をさへ知らず、然ればさて此所に自害すべきにもあらず、依つて我は父を尋ね逢ひまゐらせて、世の光景を見んと思ふなり、汝は是れより筑紫へ立歸り忠國白縫等に此事を告げ知らせよ……」と宣へば紀平治は聞もあへず　紀「這は思ひも寄らぬ事を承り候ものかな、廿七騎の朋友にも後れ是れまで附添ひ奉つりしは君の御先途を見屆け奉らんが爲めなり、如何に仰せあるとも立去り申さず」と、申した　爲「汝が誠忠は我れよく知れり、然れども此軍破れて爲朝も行方なくなりしと聞けば菊地原田が徒時を得て不意に押寄せ多年の鬱憤を晴さんとなす事必せり、鎭西に遣せし舅も妻も事情を知ずして殊の外に狼狽し忽地捕虜となつて生恥を曝す事などあらんも知れず、若し然る時は無下に口惜しき限りなり、兎に角汝は馳歸へり、忠國に力を戮せ脱れべくは遁るべし、若しかなはずば忠國白縫諸共に討死致すべし、我が生前の心掛りは是れのみなり」と、諭し給へば紀平治やう〳〵承諾して　紀「然らば仰せに隨がひ奉つり宰府に馳せ下つて目覺しき合戰仕り、若し叶はざる時は忠國殿白縫樣の御供して便宜の地に潛ばせまゐらせ、時を待ち再び見へ奉つらん、君にもよく艱苦を忍び生命を保たせ給はらん事こそ願はしう存じまする……」と聞て爲朝莞爾と笑み　爲「我に於て憐たることをなし、汝女々しく別れを惜みへらるゝな、人の怪まぬ間に疾く〳〵往けツ」と仰せに今は詮術なく薩の路へ立歸りました、爲朝は馬を早めて滋賀の方へと赴むかれました、官軍は新院を始め奉つり、討洩したる宗徒の武士を召捕るべしと軍兵所々に部署して探しましたが爲朝の往方も知れませんゆゑ、衆人詮議して爲朝西國へ逃げ下り再び事を起せば由々しき御大事なり速かに彼が妻子を生捕りて差出すべしと急馬をもつて菊地原田の許へ仰せ遣はされました、然るに太宰府は遙か路程距たり居りまするゆゑ、洛に合戰のありし事は未だ聞へず、忠國白縫は元より士卒皆な斯るべしとは思ひも寄らず去年より只御曹司の歸らせ給ふを今日か翌日かと待つ保元々年七月廿六日の夜半俄かに物騷がしく聞へまするゆゑ、忠國は怪しみ獨り臥房を出で遠侍まで行かんとせし時、家隸吉田兵衞高間四郎遁だしく馳せ參りました　忠「彼の物音は何事ぞ」兩人「然れば實事やらん洛には鳥羽法皇崩御の折しも新院御謀反の事ありて去る十一日の朝まだきより合戰始まり、其日の中に新院方は打負け給ひしとか、然るに下野守殿は内裏へ召れ判官殿八郎殿を始め六人の子息を將れ給ひ、院の御味方に參られました、軍敗れて後は父子兄弟みな四落八落に成らせ給ひ、其の御生死の程さへ知れずなりました。

京城新報

暴徒捕虜の始末

一擧兩損の姑息策

大久保韓國駐箚軍司令官は、韓國に於ける暴徒討伐鎭定の狀況を、我陛下に奏上すると共に、我政府に報告せんが爲めに、昨日を以て出發したりと聞く。司令官が何の言葉を以て奏上及び報告を爲さんとするかは、吾人の知る所なりと雖ども、今迄暴徒の鎭定歸順の奏上報告は幾回となく繰り返へされしも、又た幾度びとはなく暴徒の蜂起を見たりしに徵せば今後の事寒心すべき無からず、今度の奏上報告も唯今度の一時的鎭定歸順の奏上報告なりとすれば、余輩は餘りに其の無意味なるに憐らずんばあらず。然れども其れは措て置て、今回南韓暴徒討伐に於て、七百有餘の大捕虜を爲したりしが、政府は此の多數の捕虜を如何に處分すべきかに就き、痛く心を惱まし、種々研究したるの結果、遂に之れを慶尙全羅二道の道路築造工事に使役することに決し、不日之が實行を見ると聞く。而して政府當局者は此の擧の利益にして所謂一擧兩得なるやの如く心得、私に誇り私に慰するもの〻如きも、余輩は其の餘りに姑息にして餘りに沒常識なるに呆然たらざるを得ず。

抑々韓國暴徒なるものは、如何なる狀態によつて黨を結び、如何なる動機によつて起るものなるか、詳しく云へば韓國の暴徒は、如何なる性質のものなるかは、世人が既に遍く熟知する所の如くにして、衣食住に窮したるの結果黨を結んで賊を働く所謂草賊の輩あると同時に又多少の政治的意味を加味し居る者あるとは決して掩ふべくもあらず。勿論此の種の中には純然たる泥棒の混入し居らずとは云はれざるも、少くとも之を率ひ之を統ぶる親分なるものは多少才識もあり政治的意識をも有する彌次馬なるゝは、近く伊院停車場襲擊の一事に照らして見るも、明なる事實なるが如し。若し百歩を讓りて之を悉く草賊の類とするも、彼等が此の擧に出づるは、一朝一夕、時の出來心に由て起り來る者にはあらずして、時勢の變潮に化せらるゝと同時に、因襲の久しき習慣に感化せらるゝもの多きが故に之に衣食の途を與ふるも一朝にして之を改悛せしむるが如きは、決して能ふべきことにあらざること、猶ほ蜻蛉の生れ變りに正業に從ふことの不可能事に屬するに似たり。然るを無暇に[illegible]食に窮せる此の暴徒に强ゆるに、其勢力にして而かも勞働の工事を以てせんとするが如きは、無謀も亦た甚だしく到底所期の効の擧がるべくもあらず、況や之を監視するとの甚だ易からざるものあるに於てをや、況や之れに誨ゆるに若し改悛の狀の顯はるゝに至らば直ちに放ち還へらしむべきを以てするに於てをや、沒常識も亦た極まらずや。今之を監視するの勞働と困難とは、暫く之を忍ぶとするも、政府が豫期するが如く、僅々二十一萬圓の資金を以て九十哩の長き道路を築造することは、到底望むべくもあらず。さなきだに惰鈍の韓人なるに加へて、心にも染まぬ勞働を强ねらるゝものが、如何でか克く一人前の働き振りを見せんや。一方に於て之を改悛せしむること既に難く、他方に於て無益の大金を無益に費すと云へば、政府の此の策は正しく一擧兩損の擧と云ふべく、余輩は何時もながら政府の姑息手段を執るには喫驚せざるを得ず。

然らば則ち之を爲す如何、余輩は政府當路者に訓ゆるに暴徒離隔の優れるものあるを以てせんとす。暴徒の性質が政治の意味を帶ぶると帶びざるとは暫く之を措くも、苟も暴徒なるものが、甚だしく社會の安寧秩序を紊亂する以上は、之を根絶せしめざるべからざるは云ふ迄もなく、之を根絶せしむるは彼等をして社會と離隔せしむるの優れるに如くはなし。何となれば人間の社會と離隔せらるゝは、苦痛又た是より甚だしきはあらざるを以てなり。之を隔離するの地は半島沿岸に無數の島嶼のあるあり、之を爲す猶ほ俄國の西比利亞に於けるが如くせんには、左まで難きにはあらず。若し隨て起れば隨て捕へ、隨て捕へば隨て離隔するに於ては暴徒の根絶亦た難からざるべし、政府も亦た思を此に致せしことあらんも凝ては却て思案に能はずにて今に實行せざるには非ざるなきか敢て明案とは思はれざるも氣附きしまゝを當局者の一顧に供すと而り。

東京電報

御勅題の發表期

來年御歌會始めの御題は一兩日中發表差許る可(十五日)

撫順の炭坑問題

在北京小池總領事は來る廿日迄に奉天に歸任し撫順炭採掘區域及び炭税等に就き清國官憲と交渉を開き解決を爲す旨外務省に公電あり(十六日發)

英國元帥の退京

キッチナー元帥は本日退京新橋發列車にて西下したり(同上)

▲監獄事務官任命　韓國政府傭聘中の金澤監獄典獄神野忠武氏は統監府司法監獄事務官に任命せらる

▲陸軍將校の進級　目下銓衡中の陸軍將校の進級は本月下旬發表せらるべし(同上)

▲鍋島氏の赴任期　墺國公使に榮轉したる鍋島桂次郎氏は御用掛たる同夫人の御許可ありたる上來春早々夫人同伴赴任すべしと(同上)

▲領事官補の任地　本日左の如く各地在勤を命ぜらる

命長春在勤　領事官補　藤井寛一郎
命哈爾賓在勤　同　熊崎[illegible]
命浦鹽斯德在勤　同　矢野正雄

北京電報

領事館の設置拒絶

露國公使は蒙古兆南府に領事館を新設せんことを要求したるに淸國は之を拒絶したり(十六日發)

露藏相の來京說

露國藏相は北京に來るべしとの說あり

哈爾賓電報

捜索憲兵の引揚

ハルビンにて捜索從事中なりし我憲兵は暴動怪しき韓人無くなりし爲め近々引揚ぐべしと(十六日着)

雜報

土地證明と內部

土地證明事務は司法權委任の結果として內部の所管に移りたるを以て來年度より同部にて之れが取扱をなすべしと

收穫期節と暴徒

各道共今や暴徒は漸く氣息を屏め表面平靜を裝ふも伊藤公遭難以來一般韓人間に一種の刺激を與へ陰險なる思潮を挑發し一面同公の遭難を謳歌すると同時に漸く日人を輕侮するの風を生じ來りしは已に一般の認識する處なるが此反應は地方暴徒に最も著しく昨今新穀出廻の時節に際し到處道途に標榜し若くは檄を傳へて官憲若くは日人販賣に供する穀物荷主に對し頗る猛烈なる脅迫を加ふるに至りしが是等脅迫は今後益々擴大されんとする趨勢あり爲に地方廻米の澁滯一層甚しき模樣ありと

民長問題と市民會

既報の如く京城居留民長後任推選問題に付き市民を代表せる議員の不統一と統監府の優柔不斷とに激成せられて昨夜午後六時より京城商業會議所に於て市民有志會を開會せり出席者は各町の重立てる人々にして特に着實なる實業家のみ五十餘名の多きに達したり而して種々議論沸騰し今次議員等の採れる態度に就き其誠意なきは衆議是を認め民長官選令は今直ちに撤廢し難きは何人も之を知る處なり然れども帝國議會に於て該問題提供せらるゝや當局者は縦介官撰とするも輿望を無視せざる可しとの言質を與へ[illegible]に落着せり當局者[illegible]輿望を諮問せるに[illegible]るが如き實に痛嘆[illegible]府一任說杯を主張[illegible]るにせよ暴を以て[illegible]度に出でんとして[illegible]到りては斷乎とし[illegible]からず斯かる不信[illegible]推撰當時の所期に[illegible]局官憲の諮問に對[illegible]も擧ぐる能はざる[illegible]の爲めに公職を蹂[illegible]大失態を要するに[illegible]辭職を迫る可しと[illegible]議案を決議し實行[illegible]郎、增田三穗、小[illegible]、高木儀三郎の五[illegible]時散會せり

決議

京城居留民長を實体上民選と爲すは當居留民の意思なりと信ず民團議員は官憲の諮問ありたるに拘はらず未だ其候補者を擧ぐるを得ざるは頗る愛慮に耐へざるなり吾人は速かに適當の候補者を推擧せん事を議員に注意を促す事を決議す

以上實行委員は本日午前和田民會議長を訪問し親しく有志會の希望を述べ若し容れずんば更に市民大會を開催して目的を遂行する由なり(京通)

議會と韓國問題

今期議會に於ける韓國問題は議場唯一の大問題として叫ばれ六花八裂の觀を呈す可き事今より逆睹するに難からず今其主要問題として注意せらる可きものは言ふ迄もなく伊公兇變に對する對韓策にして政府の態度如何によりては單に質問位に止まらず桂內閣の不信任を決議するに到るべし次は東拓問題にして同社創設の主唱者桂侯は現に內閣の首班に坐し居れり然るに其爲す處を見れば三十万圓の國府補給金を受けながら宛然大地主が高利貸を營むが如き觀あり若し此儘に放棄せんか徒らに該社は特權會社となり移民拓殖の目的は終に亡盡す可し而して現狀を以て推移すれば補助金の如きは全く無意味に屬するのみならず是なくとも餘に損益相償ふを得べきを以て一大問題を釀出するや明かなり又起らざる可からざる運命あり次は韓人大臣の表裏反覆常ならず陽に統監政治に循從し陰に陰謀奸策到らざるなきが如き如何に統監府の威信を損傷せるか延いて次官兼參與官制度の無能と失敗とを現示せるものにして少くも好箇の大問題たるを得べし次は地方行政の不振にして首尾不整一なる何人も之を認むる處なり若し夫れ現政治を謳歌するものあらば中央の華麗に眩惑せられて地方の實狀を閑却せるものなり是亦有力なる攻擊問題として提供せらる可き事疑なし次は財政問題にして豫算は悉く杜撰の編成たるを現實し豫備金制度は其根本義を滅却して徒らに見積違ひの彌縫資金たるの狀態にあり隨て歲出入の現計を案すれば常に赤字を以て其不足金を翌年度へ繰越すの奇觀を呈し然かも見て以て異とせざるが如き實に驚倒せざるを得ず其他興業銀行の借入金使用に關する鹽田經營及び土地整理の如き淸津港關稅免除法律行惱問題の如き新聞通信檢束事件の如き近々將さに起らんとする京城居留民長問題の如き或は亦間島在留韓人保護問題の如き若しくは在外韓人取締の如き屈指に遑まあらざる可し(電通)

●牛疫と食牛の無檢

平常食膳に上す牛肉が完全なる食肉に非ずして中には病牛を密殺せる者尠からずと云へば何人も一驚を喫して不安の念に襲はるゝ事なるべし去る八月法文の上に於て發布せられたる屠獸規則によれば既に去月一日より食肉の檢査取締をなすべき筈なるに未だ其の獸醫の派遣せられたるを聞かず今其の詳細を左に說明せんに建陽二年に應肆規則なるもの發令せられ屠牛者一般の取締を勵行する事となりしが元來同規則は稅金を徵收するを眼目として編まれたる法文なるを以て屠牛業者は營業願出の當初準許料十圓を收め更に屠牛の多寡に準じて月々納稅する事となり徵稅の方法は至れり盡せりと雖牛疫等の檢査は殆んど之を行はず右の如くなれば屠牛業者は稅額の少からん事を冀ふより一々屆出でをなさずして密殺を行ひ之を市に販ぎ來れりされば其の中には病牛斃牛等尠からず危險千萬なるより前記の如く去る八月屠獸法規則の發布となり應肆規則は消滅に歸したるも何分從前の營業者に對しては本年中のみそのまゝ營業を繼續せしむる事を認容せざる可らざる事態とて直ちに屠獸法を實施する事能はざるが獸醫の一日も速かに雇傭せられ完全なる食肉を得ん事は我れ人共に望むところなるを以て今當局者の意嚮を確めたるに屠獸稅は地方費に編入すべき性質の者なれば該地方費中より獸醫を招聘すべきなれど何分地方費實施後時日尠なく其等の運びに立至らず又食肉取締は內部に屬すれど畜產の事は一切農商工部の直轄に付き國庫より費目を出し來年度より各道に一名づゝの獸醫を雇聘する由にて之れさへ數多き牛市場に對し一道一人の獸醫のみなれば完全に食肉の檢査をなし遂げ得らるゝや否や頗る寒心に堪へたることゝ云ふべし

●水道線の延長計畫

大韓水道會社が龍山に水道を延長せん

●仁川三銀行の金融

仁川三銀行の十月中に於ける金融統計を聞くに左の如し

「諸手形取扱高」

	仕向高	被仕向高
送金手形	九三、五三〇	五四四、九三〇
荷爲替手形	九一、六七四	四五、五八七
他所割引手形代金取立	三六七、一六六	一〇九、一〇六

「預金取扱高」

	預入高	拂戾高	月末現在高
公金	三、九三一	一三、九六八	一一、二六九
定期	三七、三六二	六二、〇一六	六三三、三五七
當座	二、五四一、一一一	二、五七七、一一三	二三三、五〇四
小口當座	七〇、〇三三	五九、六六二	一三、八一七
諸預金計	二、七二三、二九八	二、八四五、七二一	一、〇九四、二四四

「貸金取扱高」

	貸出高	入金高	月末現在高
貸附金	一三五、〇九七	一四八、六六九	九三八、八〇〇
當座同	一七五、六九一	一七九、五五四	二四五、六九八
割引手形	六〇四、〇二二	六〇七、九四〇	一、〇三四、七一九
荷爲替	九〇、六七四	一〇五、五八二	四三、一二一
計	一、五二五、四八二	一、六三一、七五三	二、二五二、四三八

「金利」

	最高	最低	普通
貸付日步	三四	二六厘	三二厘
割引日步	三四	三〇	三二

「附記」

(一)穀物に對する荷爲替扱高	六八、二六九
(二)同　擔保貸出高	三三、九四九
(三)同　割引手形高	五五、一九二
(四)有價證券擔保貸出月末殘高	二六一、五九六

●大韓醫學校卒業式

大韓醫院附屬醫學校卒業式並びに創立紀念祝賀會は本日午後一時より同校內に催されたり先づ來賓一同校內を巡覽して開式池學生監勅語を捧讀し小竹敎授の學事報告菊池院長の式辭終りて卒業證書を授與し其れより來賓の祝辭卒業生總代の答辭あり終つて病院內を巡覽して模擬店を開始し種々饗應あり當日の來賓は統監府各高等官韓國大臣以下各高等官外官民有志約五百餘名也し

●朱安天日鹽の配布

度支部臨時財源調査局長鈴木穆氏は朱安試驗所製出に係る天日鹽に使用注意書を添へて此程各向々へ配布したり

●給水損害問題其後

大韓水道會社より受けたる水道使用者の損害額は二萬四千圓餘に達し三浦理事官より會社へ請求中なるが同社は曩に之に應ぜざるのみならず却て反對に水道給水を停止す可く回答爲し來りたるを以て理事官は然らば同社は給水を拒絕し一部の特權を放棄せるものと見て一般給水の道を講ず可く當官憲に於て一般給水の道を講ずとて回答せよと通告せしも今に何等回答を寄せ來ずと

●熊谷前民長の告別

前京城居留民長熊谷賴太郞氏は昨日民團立中學校女學校及各小學校に赴き生徒並に職員に對し告別の挨拶を爲せり

●熊谷氏招宴ご挨拶

熊谷前京城居留民長は本日午後六時より理事廳高等官及民會議員を巴城館に招待し又明日は各官衙を往訪挨拶すと

●特許品陳列所公開

統監府特許局は來る十八日より特許品陳列所を公開し一般の縱覽を許す由

龍山通信

(十六日支局報)

▲軍司令官旅程　昨十五日當地出發東歸せられたる大久保軍司令官は本朝馬關に着せし旨其筋に電報ありしが同地より汽車にて途中岡山に一泊し十八日鄕里靜岡縣濱松見附に廿日迄滯在二十一日東京着の豫定なりと因に大演習參觀の爲め歸朝中なる軍司令副官竹內步兵大尉は十八日司令官を濱松に迎へたる上同地出發來二十日朝歸任すべしと

▲武官地理實查　軍司令部附なる竹內少佐は地理實查の爲め本日午前九時出發咸鏡南北道に向つて出張したり

▲肥藤線開通式　肥藤線敷設工事は全部竣成し來る二十一日頃開通式を擧行せらるゝ筈につき鐵道廳よりは營業事務所長鶴尾技師出席すべく本日午前九時南大門發列車にて鹿兒島に向へり因に同線開通の上は直ちに鐵道廳所管の各線と連絡輸送を開始すべしといふ

▲天日製鹽贈進　度支部臨時財源調查局長鈴木穆氏は前日同局朱安出張所天日製鹽田開設以來既に三年を經過したるに至りたる赴にて其の品評を請ふと所產の品質も年一年良好なるものを得て一二等鹽各若干斤を龍山民團に贈進したるが今民團吏員の話を聞くに右の天日鹽は色純白にして苦味なく鹹味極めて强く普通鹽に比し優秀なるは素人も一目して之れを判するを得と云へり

▲水質檢查施行　曩に惡疫流行の際龍山民團にては新市街は水質檢查を爲せしも舊市街は之を爲すの遑なかりしを以て兩三日中之れが施行に着手すと

▲水道會社橫暴　龍山民團對京城水道の道路使用に關する交涉事件は一應不調となりたるが會社にては國有道路たる電車通りのみ敷設すべく既に鐵管も到着せしを以て政府の許可を得次第工事に着手する計畫ありと傳へられ之れを聞ける市民は會社が事業の性質を顧みざる振舞に頗る激昂し居れり

●橫山議氏送別會　前仁川民團助役橫山議氏の送別會を明十七日午後六時三十分より仁川俱樂部に於て開催する筈なるが之れが發起人は信夫、奥田、加來、靑木、宮前、秋田の諸氏なりと

●淸水十八支店長　病氣療養の爲め內地旅行中なる京城十八銀行支店長淸水文之介氏は目下相州鎌倉長谷に滯在中なり近來病勢は頗る輕快なりと云ふ

●理事官木盃下賜　信夫理事官は昨年令孃死去の際金二百圓を仁川小學校及び仁川病院に寄贈せしに對し今回賞勳局より木盃一組を下賜されたりと

●岩崎民長の招宴　仁川岩崎民長は明十八日午後六時半より信夫理事官其他直接民團役所に關係ある人々を仁川俱樂部に招待して晩餐會を開く筈なり

●奥田翠香氏歸鄕　京城日報記者奥田翠香氏は父君病氣看護の爲三週間の豫定にて昨日出發鄕里土佐に歸省せり

●岡田部長の歸任　慶北警察部長警視岡田宣壽氏は昨日出發大邱に歸任

●佐々木警視出發　出京中の慶北警察署長佐々木虎彥氏は十五日出發

●沼澤書記官入京　忠淸南道觀察道書記官沼澤七郎氏昨日入京山本へ投宿

▲治外法權▼

明日は官民有志の親睦會で藝妓共は總出で興を助けるそうだ、日曜でも祭日でもなく何一生懸命で稼いで居る眼の前をドヤンドヤン騷がれては迷惑な話だ、遠たに拘はらずヤレ祝賀會ぢややの親公兇變の爲め天長節の賑いさへ遠慮じやのとはちと早や過ぎる▲イヤ祭り騷ぎをして阻隔せる官民を融和するには餘りに手段が淺いではあるまいか▲日日忙はしい編輯を爲て居るから多少文字の遣ひ方や校正の間違位ひは免かれぬ處だが、本日の御紙の論說に醫育と云ふ文字が遣つて斯かる珍な熟語は拙者生れて初めて見した主筆法學士先生の名文だから分何國かの新熟語には違ひないが法で行くと工育、理育、法育杯の方も出來るであらふ▲大阪力士の木戶橫綱不許可は好角家連の問題となり、角狂の記者も隨分興味を以て之を見て居るが今回圖らずも九州で東西合併相撲を催し言はゞ大木戶は三日目に鳳の爲め苦もなく敗けたが實力試驗とでも云ふべき位ひだ、而かも鳳には曾つて京都にても敗けたのである、之では橫綱處の騷ぎであるまい、尙は鳳は東京の前頭二枚目ありながら大木戶、岩友の兩大關を腦の大錦杯も破つて居る、して見ると大阪力士は東京の前頭二枚目以下と云ふても宜しい。

有望なる韓國產棉

[illegible]て漸く成功の端緒を得たり韓國棉年々[illegible]其他一箇所に配付し別途に該棉植附[illegible]の植付を見るに至り順次韓國棉を發し[illegible]るべく右の如くなるを以て今後の同盟[illegible]

向田幸藏氏は管內巡視の爲め昨日午前[illegible]て下仁したり

[illegible]村警視局長代理として本日朝出發せり

●辭令　左の通り任命せらる[illegible]

補咸興院[illegible]　(同上)　岩本[illegible]

[illegible]院勤務(八級俸)

水源地を見せられた記（二）

粟子

間誤付いた理由は何んでも、兎に角遅刻したのは僕等の罪だ、然るに見棄てても成さらずに唐突でも何んでも「ヘイ私君」を居殘らしめられたる好意は少なくとも「有難う位」の感謝に値ひする、と思ふ、此門で「ヘイ私君から事業概況なる刷物を公平に一枚宛貰つて會社に行く日城子の車には贅澤には跡押が附いて居る、爾う云へば公平なる會社は僕のにも附けて呉れて居るに相違なし跡押付きの人力車に乗つて田舍道を走らしたつて見て呉れる者もあるまいに勿体ない事を爲る者だなぞと考へ込んで居る間に長女を燒いて貰つたので馴染のある火葬場手前の二岐路へ差し蒐ると唐突に偏強なる二韓人大手を擴げて日城子の車の前に立ち塞がるが否や蹴躍を振り絞つて「其奴等は何處から乗せて來たか」さ來た。ヨボ車夫蠶は其勢に恐れたものか一齊に轅を控へる、呼、萬事休す、此の白晝此の大道に途を擁する程の彼等なれば逃げ様とて逃がすべき、只此の際に處する徒らに周章狼狽して見苦しき死態を爲さらんこそ可けれ、唯日城子に對しては企みしてとゝは云ひながらイザとなりては流石に氣の毒で堪らない、さりとて何うなる事でもなしマヽヨと計り又も觀念の眼を閉ぢた、是れが今日になつてから二遍目に閉ぢられた觀念の眼である。

少時すると車は動き出した、生擒つて歸りてから弄り殺しにでもする積りだらうかと折角閉ぢた觀念の眼を開けて見ると平然たる日城子を乗せたる車は三尺の前にあり、暴徒と見たる二人の男の姿は消ねて影だになし、今の二人は何した奴かと尋ねて見たら「會社の守」其樣者なら驚かない方が善かつた客を乗せたる車夫に手形を與ふる關所驚かなかつた日城子が羨ましい、思へば僕の觀念の眼は餘りに早く閉ぢられる様である。

斯る間にも車は容赦なく走り着く、仰げば獨立要塞の掩堡を見る如ツ、りつつ大觀の絶嶺に漢城二十餘萬衆の命の露を湛ねたる貯水池は宛ら長風に嘯く巨人の如峙つゝ京城滿市を俯瞰して。此の貯水池に送り來さるゝ水は漢江の上流纛島寄りの江心より二百尺の鐵管を通りて無蓋沈澱池に引き上げられ更に有蓋沈澱池に入りて厚さ三呎の細砂に漉され、此所に完全なる清水となりたるを有蓋貯水池に溜ね必要に應じて二臺の大ポンプに依りて水源地よりは二百六十尺の高地にある、此の大觀の貯水池に送らる、此所より市中への給水は自然に巨大なる鐵管により流れ下るに委するなるが、危哉、此至重至貴の貯水池の警護として僅かに一兩人の韓人あるのみ、日人たる吾輩は甚た不安の念に襲はれざるを得ぬ、理性の敏きバーハム君の三思を促進する。

京城孤兒院の紛擾

▲孤兒を食物にする院主 宮内府主馬課の筋向ふに京城孤兒院と云ふがあり宮中より毎月三百圓の補助を受け尚學部よりも十五圓其他有志者の寄附抄からず前の院主李芯和と云へるは之れ等の恩賜金や寄附金を着服して毫も院務に盡さず債務のみ徒らに嵩みて事務は益々澁滯し到底維持の困難なるより去る八月頃院主を辭し悴の李恩濟と云ふに萬事を打任せたり然るに爰に李春世と云ふ者あり孤兒院の如き公共事業を一個人の私腹を肥すの資となすは見るに忍びずとて最初は同院の有志家なりしが衆に推されて院主となり李必和の去りたる后を繼承し專念院務に盡し來れるが前院主の悴李恩濟は父より万事を打任せられたればとの口實を楯に碌々院務を執る事をせず唯補助金や寄附金等を私せんと企て李春世との間に紛擾絶へず斯くては罪もなき孤兒の苦痛を感ずる事多ければ學部當局者を始め漢城府に於ても再三同院に交渉するところあり不日右の紛擾も終りを告ぐる事となるべきが世にも悲慘なる孤兒を手品に私腹を肥さんとは以ての外のヨボと云ふべし

明日の京城市中

▲中檢藝妓の總出囃し ▲裝飾馬車の曳き廻し 當地官民有志の催しに係る秋季官民大懇親會は居留地創設以來の大規模大計畫の下に擧行せらるゝ由にて日取りも既に明十七日の事なれば此所十余時間後夜の幕の勝鳥の聲に切つて落さるゝと同時に中檢藝妓は一人殘らず天成の麗質を裝ふに粉黛の美を以てし午前八時と云ふに一樣の仕丁扮ち一刷毛刷いた富士額雲と擬ふ參々たる黒髪は解いてスラリとスベカラシ舍人烏帽子は能と冠らず後に搬ねて細紐の細くも胸に締め括り音頭取る妓の調子に連れて足拍子揃へて花山車を曳いてヨイヨイヤサアと遍ねく市中を練り行くといふか夫れを聞いた本町青木堂の御大將一番奮發せざる可らずと辻屋、明治屋、山邑、櫻正宗等一騎當千の面々を語らひ密々協議を凝して決定したる餘興の趣向を探つて見たるに如上四商店の店員約百名を驅り催し思ひくの假裝して裝飾馬車を隅から隅までヅラリツーイと曳き廻らしめ居留官民をアット云はする計畫也と然りとは明日が待遠い

統監邸内出火原因

▲烟突掃除の不行屆 統監官邸綠泉亭出火の由は昨紙所報の如くなるが今其原因を聽くに温突或は烟草の吹殼等種々の説を爲し居るも全く暖爐の烟突より發火し軒下に燃ね移りたるものにして偶々北風に煽られし爲め一大事に及ばんとせるものなりと

●荷車と馬車の衝突

▲馬車には糞尿を滿載 龍山本町四丁目七十二番戸硝子製造業北原伊三郎（三九）は昨日午前十時頃南大門通三丁目第一銀行建築場横手街路をランプのホヤを荷車に滿載して通行する折柄京城中部廟洞統戸不洋漢城衛生會汚穢物運搬人夫李鳳煥（四五）が後方より糞便を搭せたる馬車を牽き來りて北原の荷車に衝突して北原は車と共に左側に跳飛され尚折惡しく前方より來りたる韓人の牽たる牛車に觸れたるに依り梶棒二本ホヤ七本を破損せるを被害者より南部署に相當の辨償方を願出で結果李より一圓卅九錢を仕拂ひて示談にせしめたり

●暴徒巡査を拉去す

▲二名の巡査と暴徒 伊藤公の兇變以來暴徒の跋扈各地に蜂起して良民を苦しめつゝあるは屢々耳にする所なるが又も本月一日頃より忠淸南道なる林川郡および韓山郡方面に五六人より成る小集團の暴徒蜂起したる報に接しその筋にては間斷なく巡査を特派し之れが檢擧に腐心し居たるが去る六日韓人巡査一名が林川郡内を巡回中五六名の暴徒に遭遇し内一名は佩刀を奪はれ命からく逃げ歸りたるも一名は暴徒に捕はれ何れにか拉去せられたりと

●賍品らしき釜

昨日午後七時半頃若草町一丁目二番戸古物商福井登暮道方へ一見日本人らしき服裝を爲したる十七八歳位の韓人來り主人の命なりとて二升釜一個を持參し代價四十錢にて買ひ求め呉れとの事に其際主人は外出中にて同人の女房やな（三〇）なるもの留守居なしゐたるが件の韓人の言語擧動怪しき點あれば然らば自宅の主人に一應面談せし上ならば買ひても差閊なき旨いひければ承諾して主人の宅といふ大和町一丁目大工菜方に至る途中韓人は本町七丁目通りにて逃走せしかばやなは釜を永樂町派出所に持參して右の始末を屆出でたりと

●日韓人の摑合ひ

仁川畓洞居住の李昌順（二二）は一昨日午後六時頃仁川梶峴驛夫なる新潟縣生れの熊倉五郎（三八）と大道に於て摑合ひの喧嘩を爲しつゝあるにぞ警官出張取調べたるに喧嘩を初めしものさへ判明せしかば固く將來を戒めて放還したりと

●伊公追悼會設行

本派本願寺大聖教會にては十五日午後一時より太子太師伊藤公の爲めに追悼會を設行したるが地方支教會よりの上京參列者もあり會衆數百名の多きに上り朴主監の誄辭教會員の燒香あり靜肅の裡に盛大なる儀式を結了したりと云ふ

●仁川花柳便り

霜枯れの花柳界は相も變らず淋しう存候△仁川の三妹藝者とし云へば一富士の君之助、小富士、一昇なる事は粹樣先刻御存知の筈に有之候處有爲轉變は世の慣ひ君之助は龍山のさる人に落籍されて移り住む事となりしかば玆に三妹の一妓を失ひて人氣兎角振はざりしが今回淺岡の三桝、彌生の愛子と小富士とにて新に姉妹を契りたるやに聞き及び候が神聖を保つや什麼やは疑問と思し召さるべく候▲京城井門より仁川淺岡に鞍替せし千太郎事勝利は在京中某所より吳服代九十三圓餘の掛金を其儘後足に蹴り爲め裁判沙汰となりたる事は既報せしが右は來る廿五日仁川にて民事裁判に附せらるゝ筈と相成居候名前は勝利だが此方は敗亡と存候▲朝日樓の小紫は兼て懷姙中なりしが兩三日前玉の如き女の子を產み落したる由に候何は兎もあれ芽出度事と祝ひ納め候（烏子）

●ヨボ泥の四九尻

昨十五日鄭順甫（五〇）といふヨボ泥は龍山元町四丁目椎野倉藏方勝手口よりバケツ二個を竊取し逃出さんとする處を取押へられ警察に突出さる

●牛泥棒の處刑

仁川紐峴驛附近の民家より牛を竊取して其筋の手に捕へられし近藤芳雄（二二）は此程仁川裁判所にて公判の結果懲役一年に處刑さる

●龍山の無料種痘

龍山民團にては公醫をして來十九日より十日間種痘を執行せしむ其接所は學校本願寺其他の寺院等なり

●新町だより

昨夜新町遊廓の嫖客は百人散財額五百九十七圓廿一錢也き

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十一月十七日 舊十月五日 九紫友引辛巳
やぶる△●一白 誘惑を防ぎ賣買貸借等
法律關係に錯誤なきよう留意すべし色
情を戒しむ△●二黑 創設開始仕官就職
及依賴相談等相應の効果を擧ぐ病傷長
るべし△●三碧 總じて順調の日なれど
も進取を禁ず守成に利あり△●四綠
冠婚命名其他家庭内の事に付きては良
好なるも家庭外の事に付ては概して不
利の日とす△●五黄 進達の日なり大概
の事吉但し虚飾潤色を戒しむ△●六白
新事及轉改の事見合すべし建築土工冶
金鑛山に關しては吉△●七赤 轉倒齟齬
を來し易し新事及復雜の事は見合すべ
し盜害横領を防ぐべし△●八白 概して
隆昇の日なり相談依賴等成効す建築若
くは金屬に關する業務には大に良好△
●九紫 謹愼願念すべき日なり損害多し
新事及旅行出帆見合すべし
右は概括的判斷なり各人格別に付ては
直接に同館の鑑定を請はる可し

京城の讀書界（上）

△日韓書房主任の談

秋闌くして郊外詩趣を肥すに宜く夜長うして燈火將に親しむに適す記者は京城讀書界の一般傾向を窺ふ可く秋日和の美しく晴れ渡つた十五日午前十時日韓書房を訪ふた。

△飜譯及び辭典 概して歐米飜譯物の購讀者は微々たるものだ、曾だ法律書類が少し賣れる位のものだ各種の辭書は依然として賣行がよく百科全書、商業辭典等は土地柄だけに最も歡迎せられ百科全書の如き定價七圓三十錢の高價なるに關らず申込者がなかく多い

△小説と文學雜誌 一時非常に流行したる戀愛小説は今は全く世間から忘れられたる觀ありて販賣力が次第に減少した、この結果として謡柿園、碧瑠璃氏等の著したる歷史的小説は漸次歡迎せらるゝ樣になつた、要するに空想を去つて現實に趨ふ傾向がある、玆に最も注目すべき現象は一時中學教育に廢止せられんとしたる漢學の勃興である而して新しきものよりも古代的の原書を讀むものが多いのだ。

主なる月刊雜誌では太陽が四百部文藝俱樂部が六百五十部乃至七百部女學世界が六百部文章世界が七八十部婦人世界が九百部實業之日本が五百六十部少年向きの雜誌が凡そ百六十部位毎月賣れます其他中央公論、實業之世界、帝國文學等も相應に賣行がある以上雜誌だけで毎月二千二三百圓の賣高は揚りますが雜誌の利益は微々たるものでほんの店飾りであるとの事だ（藤子）

●天氣豫報

（自十六日午後六時 至十七日午後六時）

南東風曇但少雨雪

十五日（華氏） 最低溫度 五、七七 最高溫度 三七、〇

一枝儀

荊妻葬送の際は遠路態々御會葬被下難有御禮申上候混雜の際尊名伺漏れ有之やも難計候に付乍略儀不敢紙上を以て御禮申上候

十一月十五日

釋尾春芿
蜂屋孝之助
古河松之助
森山美夫
菊池謙讓
酒本勇四郎
親戚友人

名 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、製絲、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●外交員募集 一日一圓以上の收入ある外交員一名至急入用氏名在社（四七七）
●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店（四八〇）
●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる教育を施す氏名在社（四七九）
●求職 年廿六簿記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社（四八二）
●ボーイ入用 十五歳以上廿歳以下數名入用 南山町三 京城ホテル
●二被雇たし 年三十五普通教育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社（四八三）

物件部

●貸家本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ氏名在社（四七〇）
●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社（四七六）
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社（四七八）
●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家韓家數間あり御希望の方は同所の内尾に就き問合せあれ

廣告

梅毒患者の福音

●殊に梅毒三期患者に對して本院獨特の藥劑療法を行ひ如何なる難症と雖二週間以内に全治せしむ 何病に對しても最新の治療を行ふ
内外科小兒科 京城南大門外通り御成町
梅毒 痳病科
戸田病院 電話九三八

折箱 製造元
京城明治町一丁目五十番戸 漢城病院下横へ入ル
箱信事 鳥山商店

入院隨意
各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
（電話三三）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
諸官衙御用品調達
各學校御用品調達

委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二 十番地

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牛場夙に此に留意し好良の食料を給す
●牛場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

荒物世帶道具一切
大阪 製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具
各國諸油 米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇 電略（ニカ又はニ） 振替貯金口座東京（九四一七番）

●電話開通 八百三十五番●
●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店

謹告

秋冷相募り候處愈々御清勝に被爲渉大賀此事に奉存候隨て當食道樂義未熟の經營にも不拘大方各位の御趣味に相適ひ開業以來望外の御高評を賜り日一日と御愛顧の數相加はり折柄本年は數十年曾て見ざる大暑に相踵で虎疫襲來の慘事あり一般商業の沈靜言ふばかりなく別けて斯る營業に與へし打擊は更に甚數學つて不景氣の嘆聲を放ちつゝありし際に在て毎度客席滿員賣切れ等の繁昌を極め今や食道樂の名は京城名物の一として喧傳せらるゝに至り候は寔に望外の光榮にして銘肝に不堪處に有之候是れ實に一般の好尙漸く瀟洒簡潔を旨とせらるゝ機運に投合せる弊店の趣向なるは申す迄もなく候へば一は誠實にして貪らざる勉強振りを諒とし御賞贊被下候にも由る義と存じ候間今後愈々倍々店内一統を督勵し特殊の趣味を發揮することを相務め敢て御高顧に背かざらんことを期し候何卒一層の御愛顧を垂れ給はらんこと希望の至りに不堪候　敬白

食道樂七則

一 意氣を好み風雅を愛する人は必ず食道樂の趣味を要す金を使ふこ使はぬこは勝手なれご知らずに過ごすは御勝手にあらず
一 風儀を保つ第一として色氣禁制のこと
一 瀟洒簡潔を旨とし儉奢を禁物とす
一 飲食物を賣つて儲けることゝ而已を本儀とせず氣安く愉快に半日の淸遊に適ふ國民俱樂部を以て任ずる事
一 富貴權威の爲に待遇を二にする事なく男も女も大人も小兒も勝手に熱の吹き次第也
一 誠實を經とし貪らざるを緯とし愛顧の雫の一滴をも漏らすことなし
一 朝は日の出と共に門を開き夕は十一時に閉切ること

明治四十二年十一月
表門京城壽町二丁目（電話九四四番）
裏門京城日の出町小學校運動場西
食道樂さかゐや
追て出前は電話にて御申附被下候へば多少に不拘即時持參可致候

美術工藝品圖案製作所開業廣告

一 各種意匠圖案　室内裝飾 廣告商標等　各種器具　織物染物
一 和洋畫揮毫　一 肖像畫揮毫　一 美術看板製作
一 既成畫及額緣類
右今般開業仕り候製作品の嶄新奇拔なるや否やは成案の上御批評を乞ふ
京城明治町一丁目五十四番戸
精美堂

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●
東京火災運送海上保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

廣告

暖爐各種
煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戸 電四七一番 馬木勇吉
龍山山下町兵器廠官舍道入口 電三六四番 馬木支店

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話長一〇七番）

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
（電話六十五番）

蒸氣消毒
牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、罐詰、精製、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
（電話二一五一番）

會席御料理御一人前
肴四品付 酒二本
金六十錢
すき燒其の外應御好
京城竹園町一丁目
遊樂樓
（元三遊樓跡）

根炭 堅炭 堅薪
松薪 松炭 石炭
京城旭町四丁目（電話一九八番）
眞下大吉商店

根炭
堅薪 松炭 堅炭 松炭
石炭
京城漢江通五丁目
直見商店
電話龍山二〇四番

待春日

合のし

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
（電話四二〇）

本店 長崎市榮町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 十一月廿日午後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 神丸 十一月十七日午後時出立
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事